

沖縄地方の天候

2020年2月と冬（2019年12月～2020年2月）

令和2年3月2日 沖縄气象台

【 2月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）	9
生物季節観測表	10

【 冬 】

冬の天候	11
冬の大気の流れ	12
沖縄地方の冬（12月～2月）	
の平均気温と降水量の経年変化	13

※本報告は3月2日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄气象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【2月】

低気圧や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

平均気温は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年差は+1.4℃と高かった。降水量は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は35%とかなり少なかった。那覇、奥、胡屋、宮城島、渡嘉敷、安次嶺、糸数、仲筋、所野では月降水量の少ない方からの2月としての極値を更新した。日照時間は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は160%とかなり多かった。石垣島、大原、波照間では月間日照時間の多い方からの2月としての極値を更新した。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	18.7	+1.6	++	9.5	8	--	133.6	153	++
名 護	17.8	+1.3	+	42.5	34	-	123.5	143	+
久 米 島	18.5	+1.5	++	69.5	48	-	111.7	144	+
南大東島	19.6	+1.8	++	27.0	29	-	143.7	126	+
宮 古 島	19.6	+1.3	+	62.5	44	-	135.1	164	++
石 垣 島	20.4	+1.3	+	45.0	32	-	162.7	198	++
西 表 島	19.8	+0.9	+	60.0	36	--	140.0	182	++
与那国島	19.9	+1.1	+	71.0	45	-	80.1	140	+
沖縄地方		+1.4	+		35	--		160	++

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++:かなり高い(かなり多い)、+:高い(多い)、0:平年並、
 -:低い(少ない)、--:かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

天 候 経 過 (旬別)

【2月上旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

沖縄地方の平均気温と降水量は平年並で、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	17.1	+0.7	0	3.0	8	--	45.9	165	+
名 護	16.1	+0.4	0	34.0	99	0	34.0	122	+
久米島	16.8	+0.6	+	37.5	84	0	35.6	143	+
南大東島	17.9	+0.7	+	9.0	24	-	46.2	124	+
宮古島	17.9	+0.3	0	48.0	106	+	51.2	181	++
石垣島	18.6	+0.2	0	39.0	84	0	51.5	183	+
西表島	18.1	-0.1	0	40.5	74	0	40.2	156	+
与那国島	18.2	+0.1	0	42.5	93	0	27.0	148	+
沖縄地方		+0.4	0		75	0		164	+

【2月中旬】

沖縄地方は前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で、曇りや雨の日が多く、16日は沖縄本島地方と八重山地方で荒れた天気となった所があった。また、期間の前半は、高気圧に覆われて晴れた所もあった。

沖縄地方の平均気温は平年より高く、15日は北原で22.8°Cの日最低気温を観測し、また16日は旧東で27.4°Cの日最高気温を観測するなど、複数の地点で14日から15日にかけて日最低気温の高い方からと、14日から16日にかけて日最高気温の高い方からの2月としての極値を更新した。沖縄地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	18.8	+1.3	+	6.5	13	-	34.5	106	0
名 護	18.2	+1.3	+	7.0	12	--	35.7	109	0
久米島	18.3	+0.9	+	18.0	29	-	26.0	93	0
南大東島	20.2	+2.1	++	2.5	7	-	39.7	94	0
宮古島	19.4	+0.7	+	7.5	15	-	38.4	131	+
石垣島	20.2	+0.8	+	4.0	10	-	44.1	155	+
西表島	19.7	+0.4	+	9.0	17	-	37.9	139	+
与那国島	19.7	+0.5	+	23.5	37	-	20.9	102	0
沖縄地方		+0.8	+		21	-		117	+

【2月下旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日もあった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.3	+2.7	++	0.0	0	--	53.2	197	++
名 護	19.4	+2.4	+	1.5	5	--	53.8	208	++
久米島	20.6	+3.1	++	14.0	36	-	50.1	203	+
南大東島	20.9	+2.7	++	15.5	73	0	57.8	165	++
宮古島	21.6	+2.9	++	7.0	16	-	45.5	181	+
石垣島	22.7	+3.2	++	2.0	4	-	67.1	262	++
西表島	21.7	+2.4	++	10.5	18	-	61.9	253	++
与那国島	21.9	+2.8	++	5.0	10	--	32.2	173	+
沖縄地方		+2.9	++		13	--		203	+

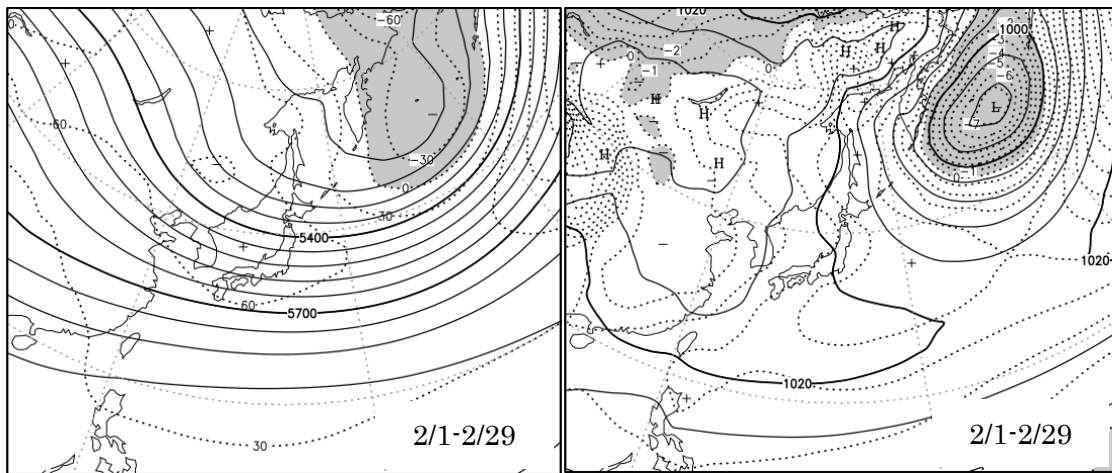
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2020年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近で平年より高かった。これは上空の偏西風が日本付近で北へ蛇行して流れたことが要因となっている。

平均海面気圧（右図）は、日本の東では平年より高かった。このため日本付近では冬型の気圧配置が続かず、沖縄地方へ寒気が南下しにくかった。また、日本の南では平年より高く、沖縄地方は高気圧に覆われやすかったため、沖縄地方の降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

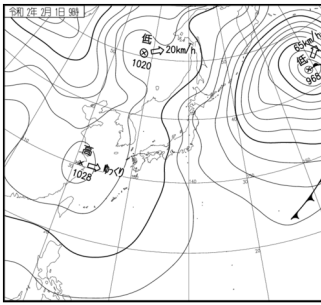


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

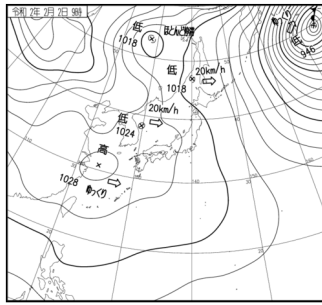
右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

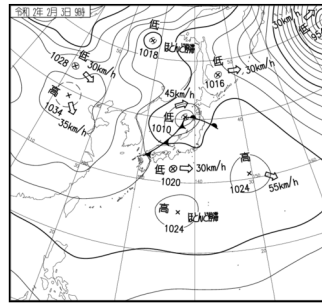
2020年2月1日～2月16日



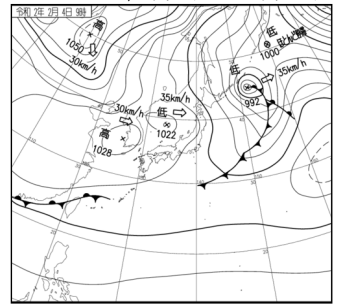
2020年2月1日
高気圧に覆われる。



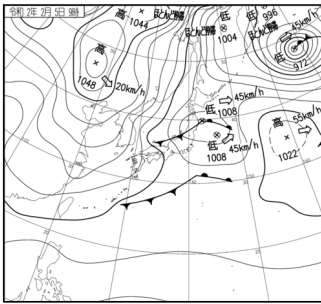
2月2日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は気圧の谷の影響を受ける。



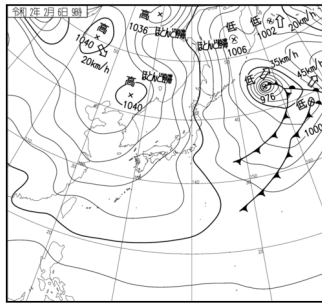
2月3日
沖縄本島地方は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



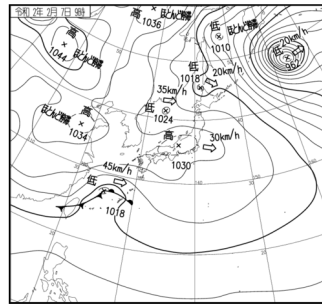
2月4日
沖縄本島地方と先島諸島は前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



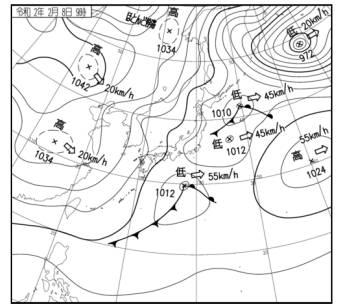
2月5日
前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



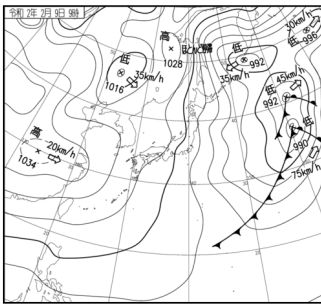
2月6日
高気圧に覆われる。



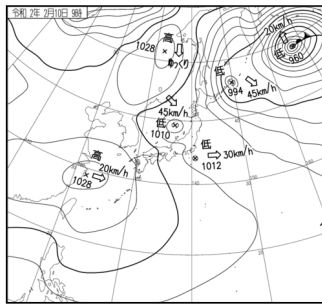
2月7日
低気圧や前線の影響を受ける。



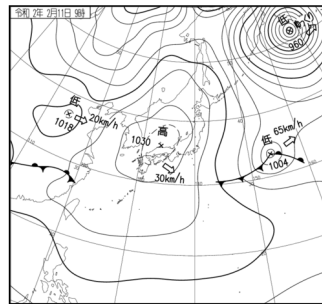
2月8日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



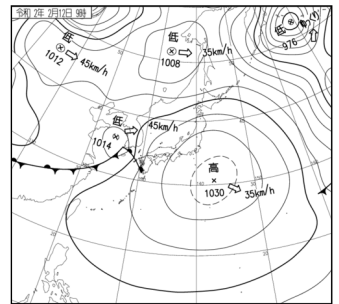
2月9日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



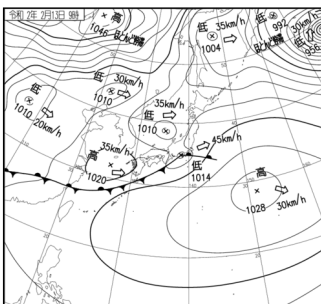
2月10日
沖縄本島地方は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



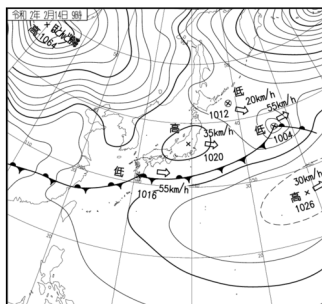
2月11日
湿った空気の影響を受ける。



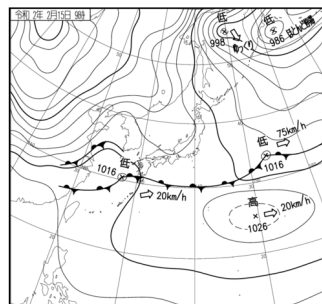
2月12日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。



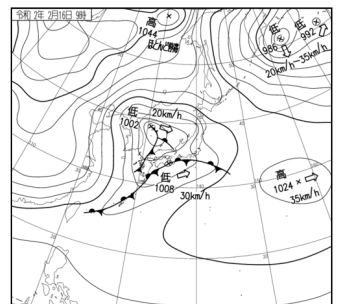
2月13日
高気圧に覆われる。



2月14日
沖縄本島地方と八重山地方は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方と宮古島地方は高気圧に覆われる。



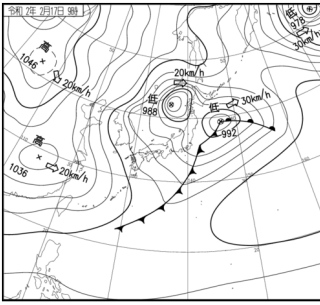
2月15日
沖縄本島地方と八重山地方は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方と宮古島地方は高気圧に覆われる。



2月16日
前線の影響を受ける。

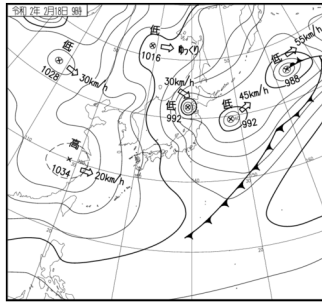
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2020年2月17日～2月29日



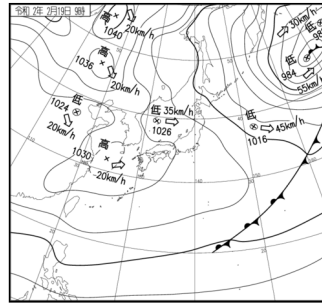
2月17日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



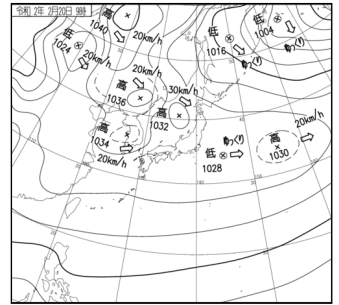
2月18日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



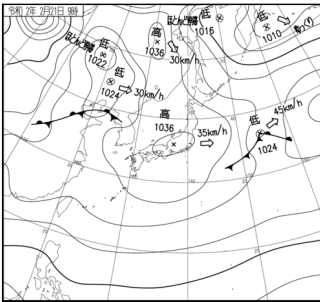
2月19日

沖縄本島地方と大東島地方は寒気の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



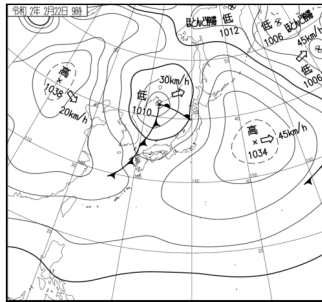
2月20日

沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は湿った空気の影響を受ける。



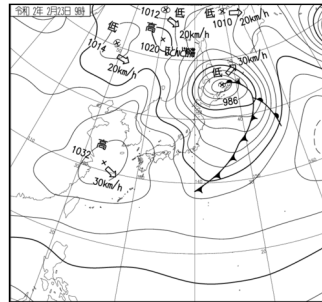
2月21日

高気圧に覆われる。



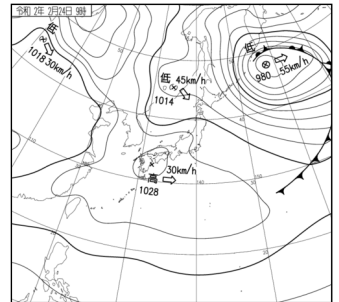
2月22日

沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



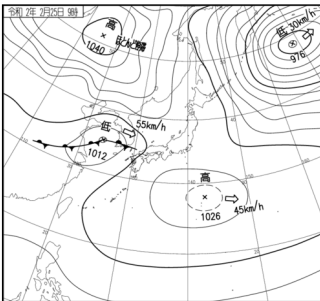
2月23日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は湿った空気の影響を受ける。



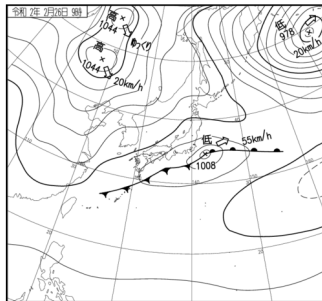
2月24日

高気圧に覆われる。



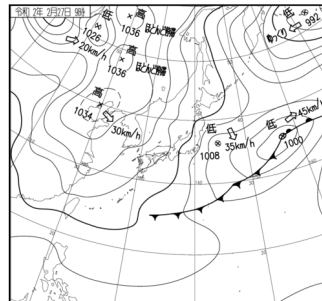
2月25日

沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



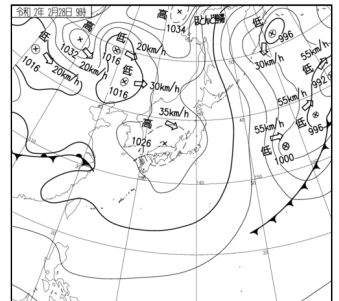
2月26日

前線や湿った空気の影響を受ける。



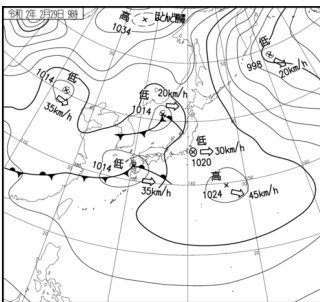
2月27日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



2月28日

高気圧に覆われる。

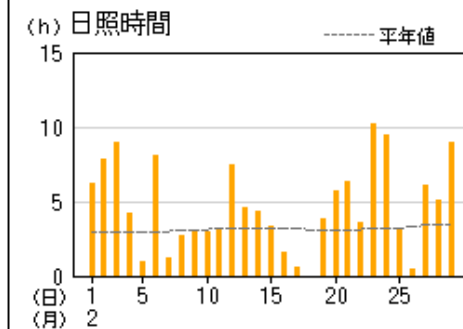
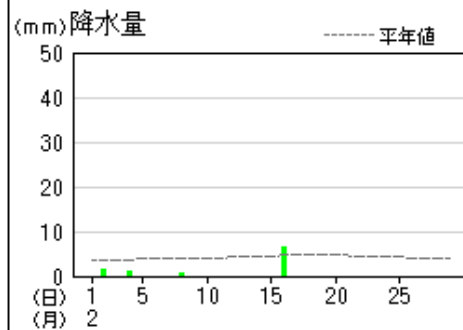
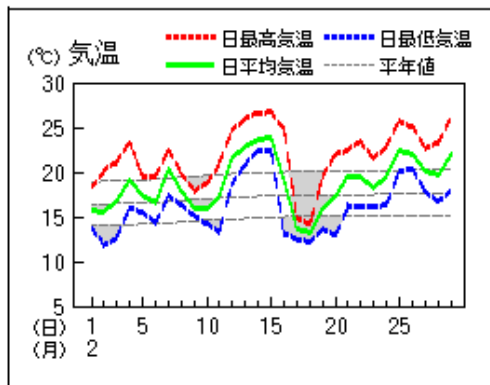


2月29日

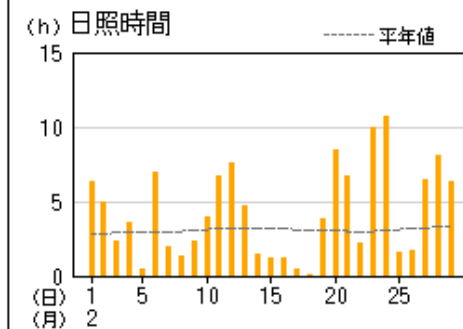
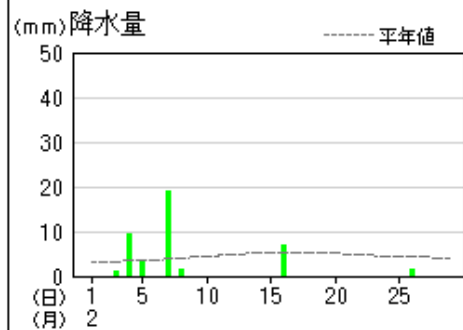
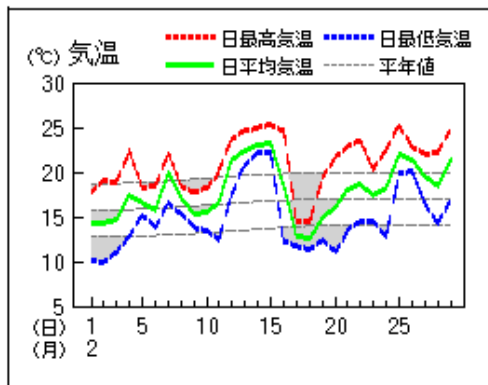
高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2020年02月01日-2020年02月29日

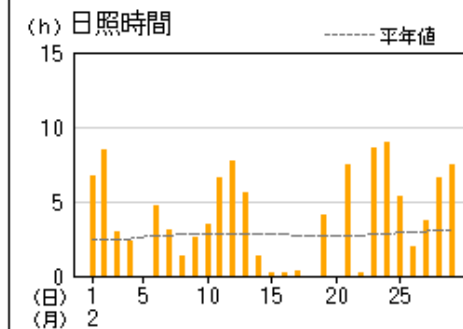
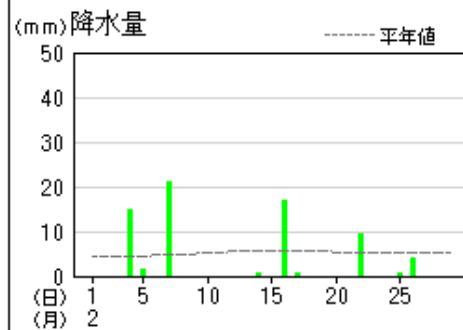
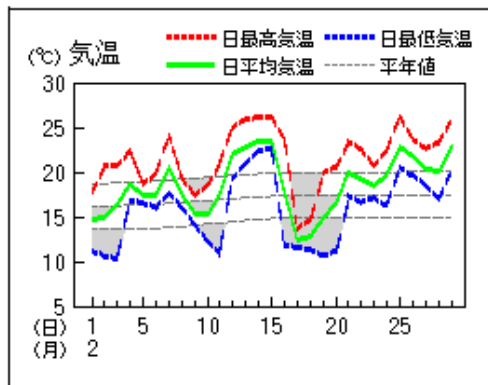
那覇



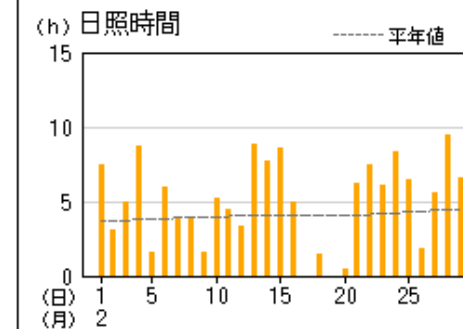
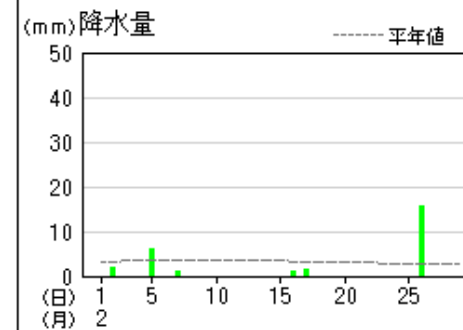
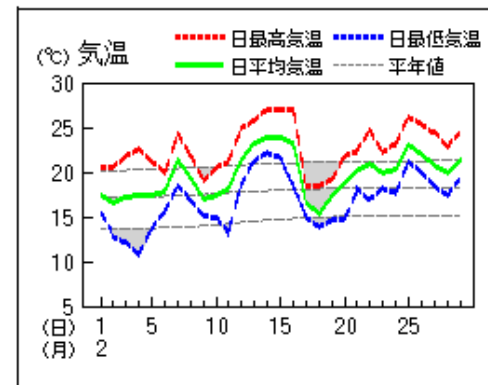
名護



久米島

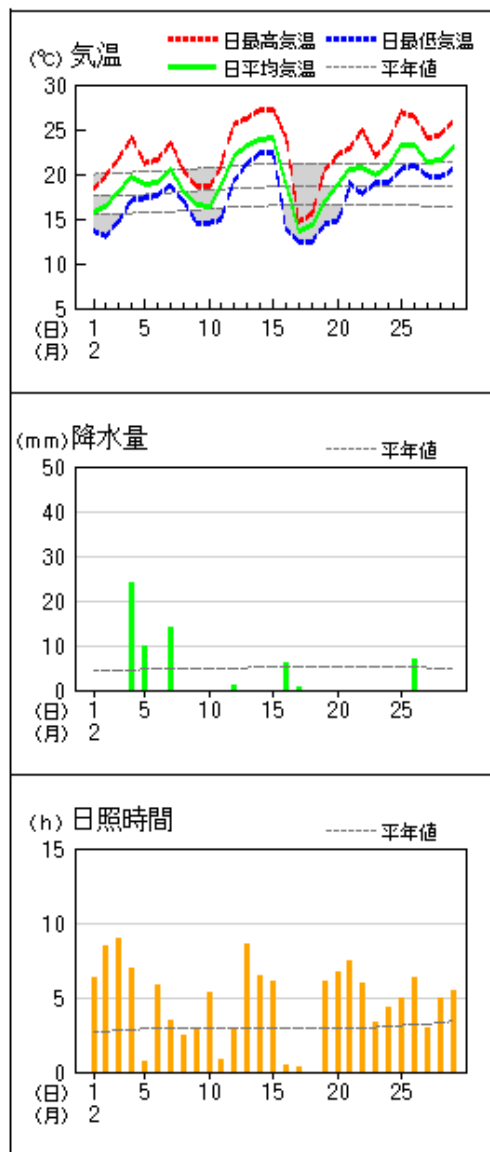


南大東(南大東島)

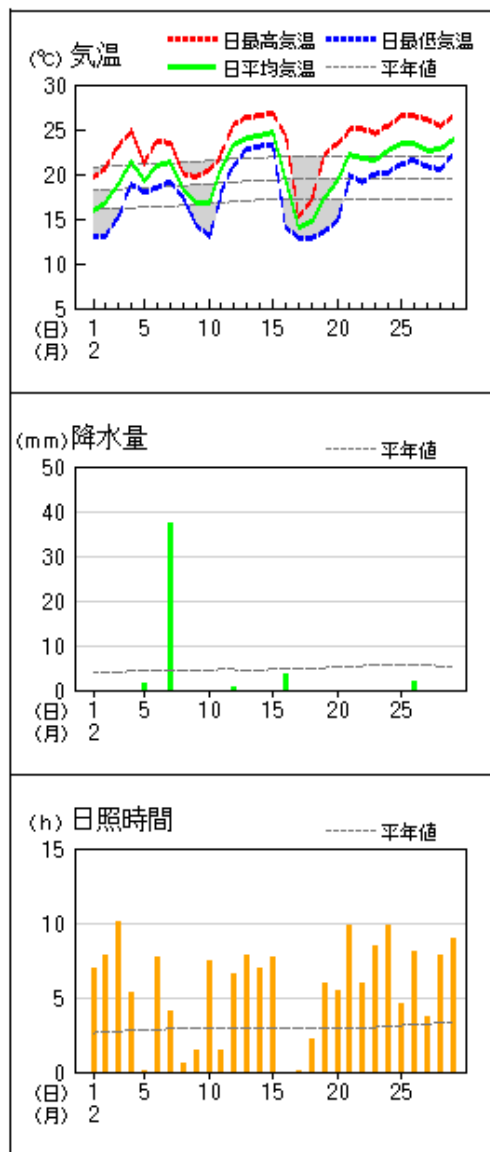


地上気象 気象経過図：2020年02月01日-2020年02月29日

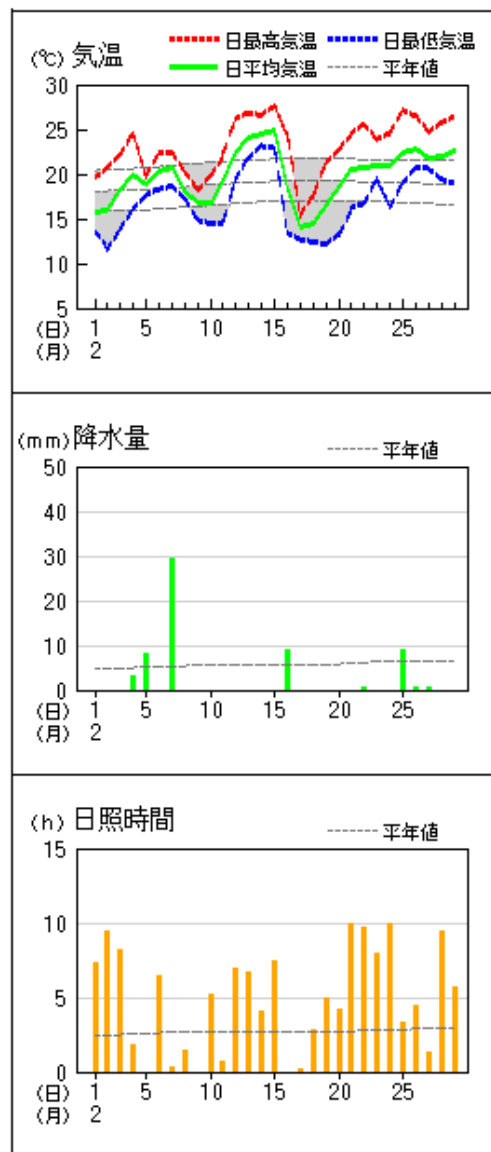
宮古島



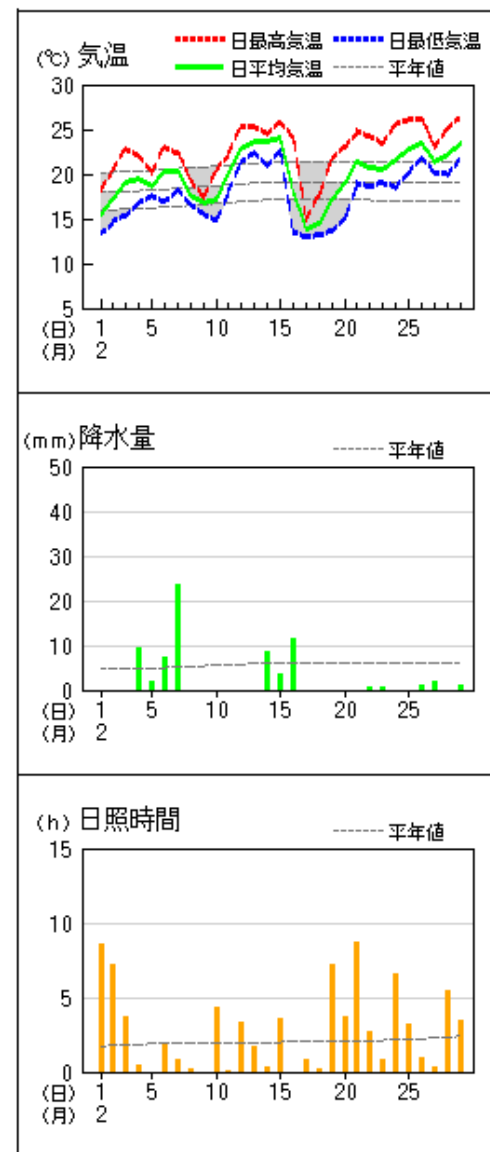
石垣島



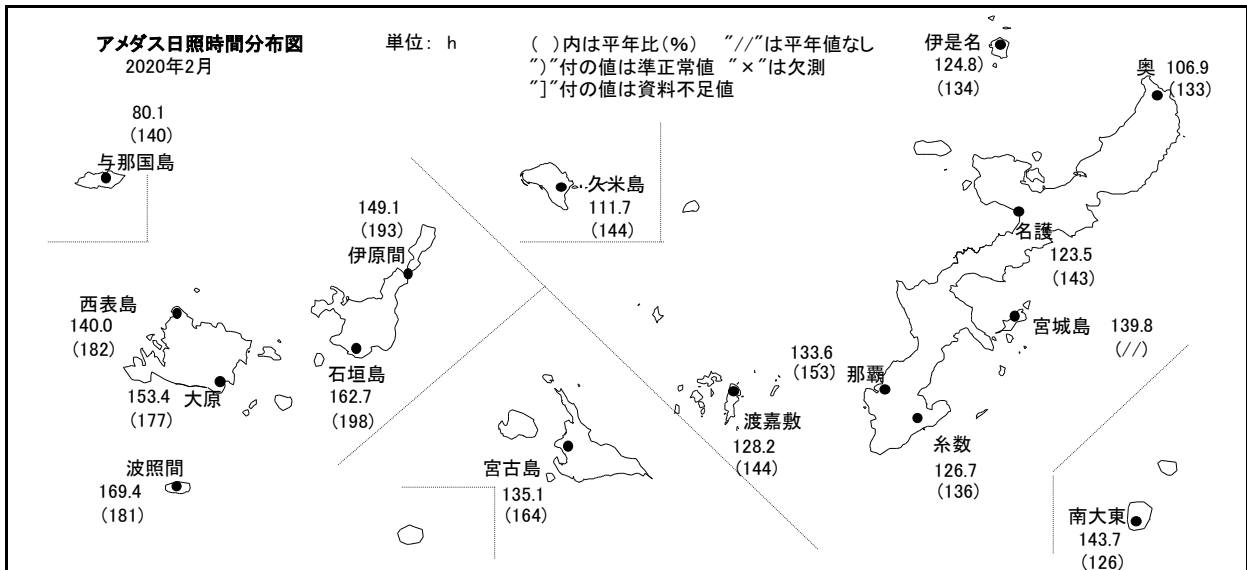
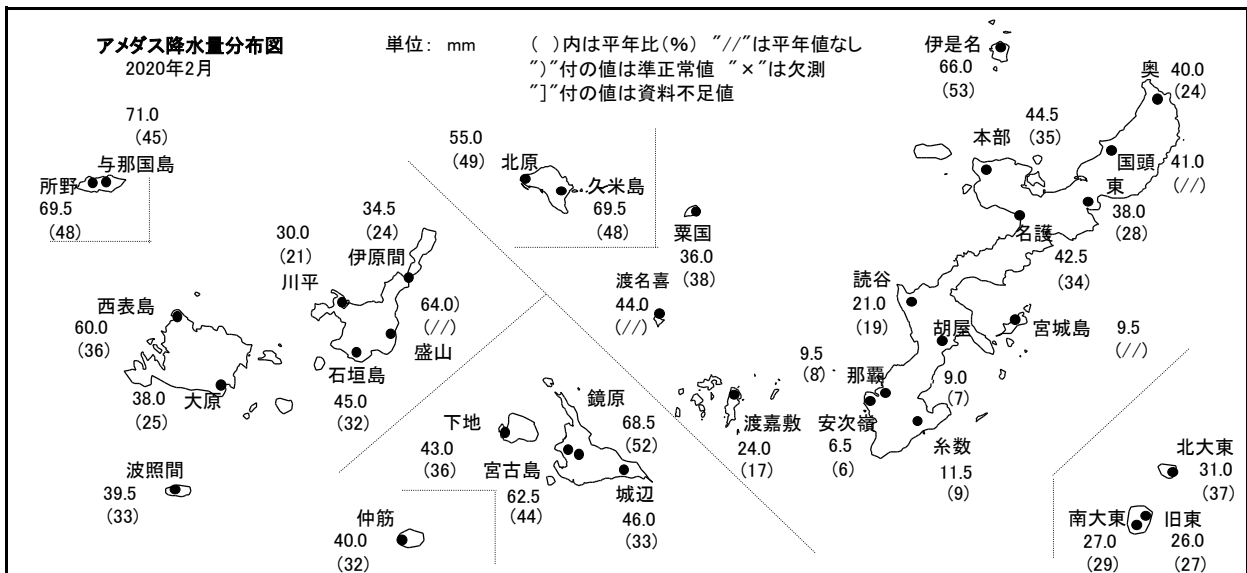
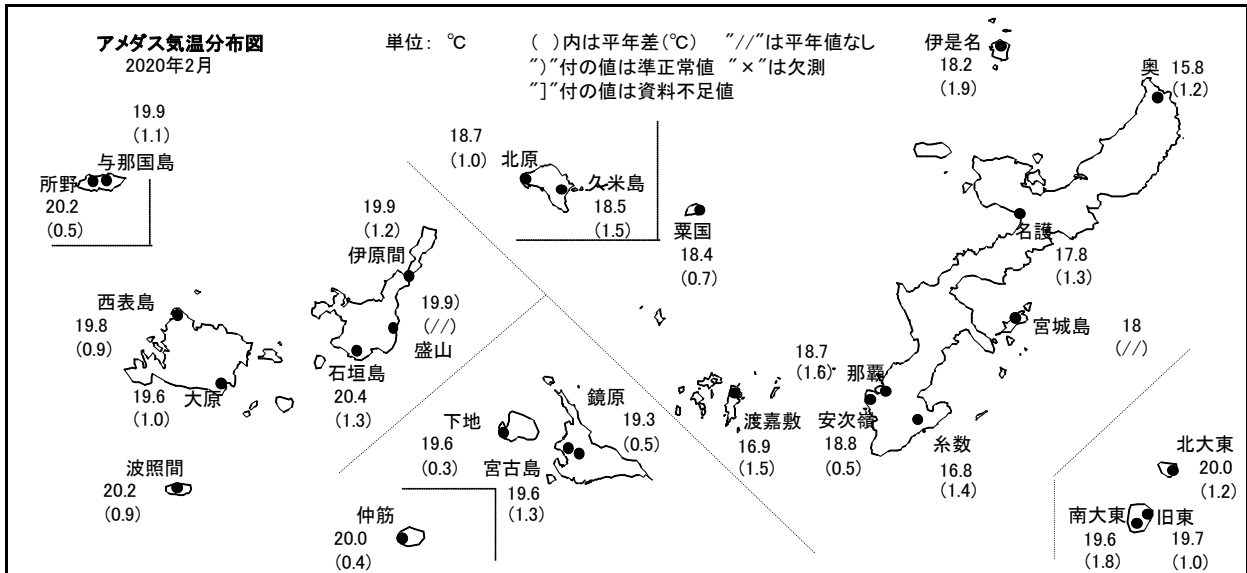
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



- ・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。
- ・ 慶良間、志多阿原地域気象観測所は1月2日00時に観測データの提供を終了したため、2月以降観測データはありません。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2020年2月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
南大東島	日最高気温の高い方から（℃）	27.0	2020年2月15日	1	26.6*	1998年2月14日
南大東島	日最低気温の高い方から（℃）	22.2	2020年2月14日	1	22.1	2010年2月11日
南大東島	月平均気温の高い方から（℃）	19.6	2020年2月	3	20.4	2019年2月
那覇	月降水量の少ない方から（mm）	9.5	2020年2月	1	19.5	1989年2月
石垣島	月間日照時間の多い方から（時間）	162.7	2020年2月	1	154.5	2004年2月
西表島	月間日照時間の多い方から（時間）	140.0	2020年2月	2	141.4	2004年2月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
安次嶺	日最高気温の高い方から（℃）	26.7	2020年2月14日	1	26.6*	2019年2月19日
奥	日最高気温の高い方から（℃）	25.9	2020年2月15日	1	25.4	2009年2月24日
北大東	日最高気温の高い方から（℃）	27.0	2020年2月16日	1	26.3*	2010年2月10日
旧東	日最高気温の高い方から（℃）	27.4	2020年2月16日	1	26.3	2019年2月19日
粟国	日最低気温の高い方から（℃）	22.0	2020年2月15日	1	21.9*	2016年2月13日
北原	日最低気温の高い方から（℃）	22.8*	2020年2月15日	1	22.8	2016年2月13日
宮城島	日最低気温の高い方から（℃）	21.5*	2020年2月15日	1	21.5	2009年2月24日
波照間	日最大10分間降水量（mm）	18.5	2020年2月7日	1	12.5	2010年2月22日
粟国	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北北西 21.6	2020年2月16日	1	北北東 20.6	2018年2月1日
所野	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北 22.6	2020年2月16日	1	北 22.1	2018年2月2日
奥	月降水量の少ない方から（mm）	40.0	2020年2月	1	42	1989年2月
胡屋	月降水量の少ない方から（mm）	9.0	2020年2月	1	14	1989年2月
宮城島	月降水量の少ない方から（mm）	9.5	2020年2月	1	20.5	2015年2月
渡嘉敷	月降水量の少ない方から（mm）	24.0	2020年2月	1	35	1999年2月
安次嶺	月降水量の少ない方から（mm）	6.5	2020年2月	1	19	2003年2月
糸数	月降水量の少ない方から（mm）	11.5	2020年2月	1	20	1989年2月
仲筋	月降水量の少ない方から（mm）	40.0	2020年2月	1	48.0	2018年2月
所野	月降水量の少ない方から（mm）	69.5	2020年2月	1	76	2004年2月
大原	月間日照時間の多い方から（時間）	153.4	2020年2月	1	148.1	2004年2月
波照間	月間日照時間の多い方から（時間）	169.4	2020年2月	1	146.0	2004年2月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2020年2月

観測場所	種 別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
(1) 植物								
那覇	サクラ (ヒカンザクラ)	満開	2月3日	2月4日	2月12日	-1	1月23日	2月19日
南大東島	サクラ (ヒカンザクラ)	開花	2月6日	1月20日	1月25日	+17	1月4日	2月9日
宮古島	サクラ (ヒカンザクラ)	開花	2月7日	1月16日	1月7日	+22	12月30日	2月5日
宮古島	テッポウユリ	開花	2月10日	3月16日	1月21日	-34	1月16日	4月27日
石垣島	スマレ (リュウキュウコスミレ)	開花	2月27日	1月1日	1月10日	+57	11月23日	2月5日
石垣島	デイゴ	開花	2月27日	3月5日	3月11日	-6	1月29日	4月15日
(2) 動物								
宮古島	ウグイス	初鳴	2月16日	2月22日	3月5日	-6	12月25日	4月3日
那覇	ウグイス	初鳴	2月24日	2月22日	2月21日	+2	1月30日	3月21日
宮古島	ツバメ	初見	2月27日	3月17日	3月19日	-18	2月8日	4月21日

※宮古島のサクラ (ヒカンザクラ) 開花は最晩日を+2日更新しました。

※石垣島のスマレ (リュウキュウコスミレ) 開花は最晩日を+22日更新しました。

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

冬の天候

2019年12月～2020年2月

天候経過

前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日があったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

平均気温は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年差は+1.3℃とかなり高かった。降水量は、南大東島と石垣島を除く全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を下回り、地域平均平年比は72%と少なかった。日照時間は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年比は137%とかなり多かった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2019年12月～2020年2月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	19.1	+1.5	++	134.0	41	--	397.0	134	++
名護	18.3	+1.4	++	278.0	84	0	377.6	126	++
久米島	18.9	+1.5	++	270.5	67	-	322.2	126	++
南大東島	20.1	+1.8	++	328.5	111	0	426.6	119	+
宮古島	19.9	+1.2	++	363.5	90	0	359.1	133	++
石垣島	20.5	+1.3	++	403.5	102	0	399.7	149	++
西表島	20.0	+1.1	++	448.0	91	0	348.9	155	++
与那国島	20.0	+1.0	++	324.5	60	-	255.6	144	++
沖縄地方		+1.3	++		72	-		137	++

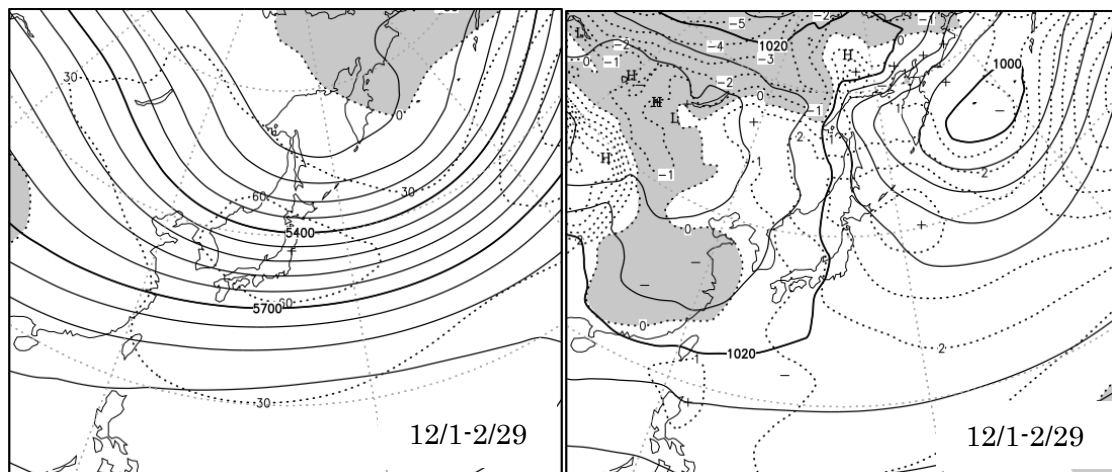
- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++:かなり高い(多い)、+:高い(多い)、0:平年並、 -:低い(少ない)、--:かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

冬の大気の流れ

2019年12月～2020年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近は高度が高く、偏西風は日本付近で北へ蛇行する流れとなったため、沖縄地方は暖かい空気に覆われやすかった。

平均海面気圧（右図）は、日本の東海上は平年より高く、大陸では平年より低かった。このため日本付近は冬型の気圧配置が続かず、沖縄地方へ寒気が南下しにくかった。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2019/20年冬（2019年12月～2020年2月）の平均気温の地域平均平年差は+1.32℃であった。1898年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に1.00℃の割合で上昇している（図1）。

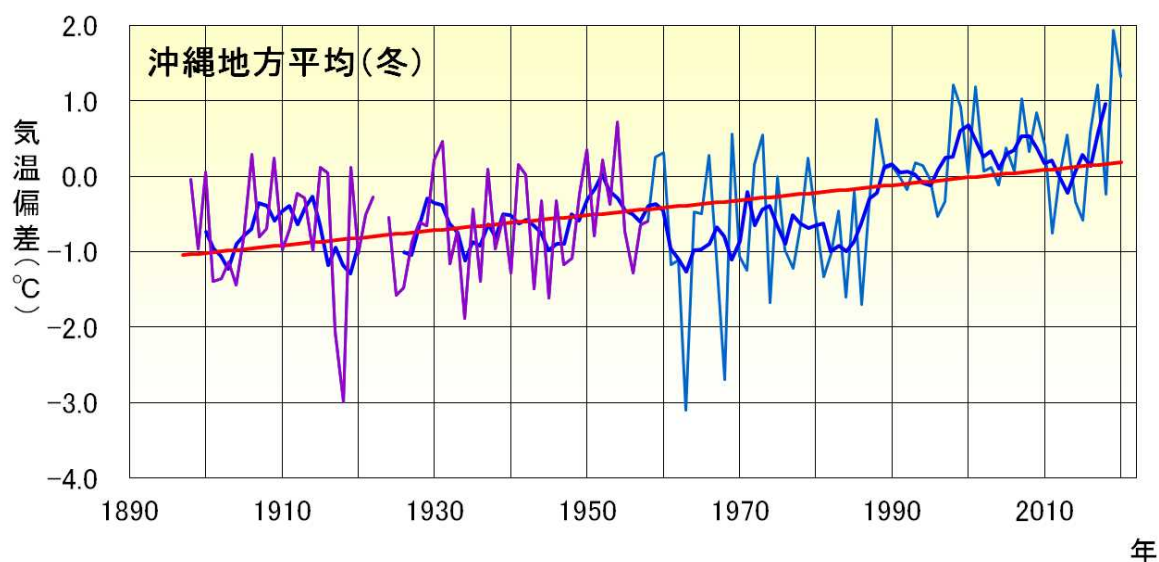


図1 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化

[1898～2020年の123年間]

横軸は西暦〔年〕、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差〔°C〕を示す。

水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。

1923年は那覇観測値欠測。

沖縄地方の 2019/20 年冬（2019 年 12 月～2020 年 2 月）の降水量の地域平均平年差は -115.5mm であった。1897 年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100 年間に 58.2mm の割合で減少している（図 2）。

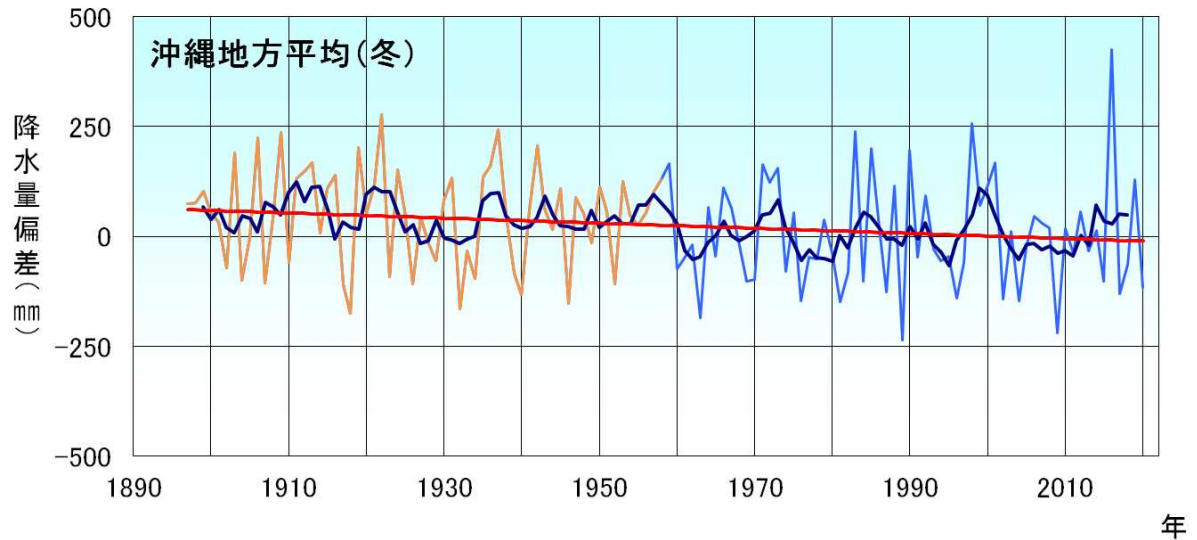


図 2 沖縄地方の冬（12 月～2 月）の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897 年～2020 年の 124 年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差 [mm] を示す。
水色の折れ線グラフは 5 地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは 5 地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の 5 年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

【注】

この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の 5 地点より算出している。また、上記 5 地点のうち 2 地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は 1897 年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第 2 位まで求めている。